

## 事前評価調書

I 事業概要																																																																														
事業名	砂防等事業（緊急防災対策砂防事業）																																																																													
地区名	やたけざわ 矢竹沢																																																																													
事業箇所	とよたしごしよかいづちょう 豊田市御所貝津町																																																																													
事業のあらまし	矢竹沢は豊田市御所貝津町に位置し、保全対象として人家8戸、集会所（稲武御所貝津老人憩の家）を抱える土石流危険溪流である。 土石流の危険性の高い溪流であり、人命などを守るため、土石流対策施設の整備を行う。																																																																													
事業目標	【達成（主要）目標】 ・人家8戸、集会所（稲武御所貝津老人憩の家）を土石流から保全する。 【副次目標】（必要に応じて記載する） ・なし																																																																													
事業費	事業費		内訳																																																																											
	3.0億円		■工事費 2.6億円、■用補費 0.2億円、■その他 0.2億円																																																																											
事業期間	採択予定年度	2025年度	着工予定年度	2028年度	完成予定年度	2033年度																																																																								
事業内容	砂防堰堤工 1基																																																																													
II 評価																																																																														
①事業の必要性	1) 必要性	流域は荒廃が著しく、不安定土砂が多く堆積しており、豪雨等が発生した際は甚大な被害が発生する恐れがあるため、土石流対策を行い、保全対象を守る必要がある。 費用便益分析マニュアル(砂防事業)に基づき算定したB/Cは3.9で1.0を越えている。																																																																												
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 土石流から保全対象を守る必要があるため。																																																																											
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>2033</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・堰堤工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="3">1.4</td> <td colspan="3">1.6</td> <td colspan="2">3.0</td> </tr> </tbody> </table>												2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	合計	工種 区分	調査・設計	←	→									用地補償			←	→							工事											・堰堤工				←					→		事業費(億円)		1.4			1.6			3.0	
			2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	合計																																																																		
	工種 区分	調査・設計	←	→																																																																										
用地補償				←	→																																																																									
工事																																																																														
・堰堤工					←					→																																																																				
事業費(億円)		1.4			1.6			3.0																																																																						
2) 地元の合意形成	過年度土砂災害防止法に基づく地元説明会を実施した際、土石流対策要望の声が高まっており、合意形成は図られていると判断する。																																																																													
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 円滑な事業環境は整っており、計画の実効性が確保されている。																																																																												
III 対応方針																																																																														

<p><b>事業実施が 妥当である。</b></p>	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>
<p><b>IV 事後評価実施の有無と主な評価内容</b></p>	
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外  【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】  —  【主な評価内容】  ・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。</p>	